

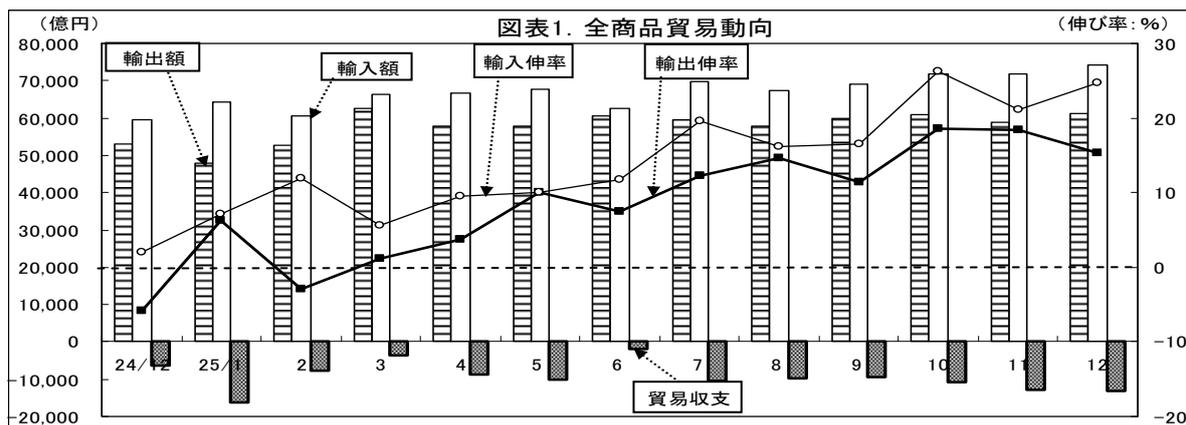
最近の機械貿易動向(12月)～機械輸出、5ヶ月連続二桁増、為替要因除き3ヶ月連続増～

日本機械輸出組合 2014.2.20.

平成25年12月の機械輸出額は3兆9,273億円、対前年同月比15.5%増と8ヶ月連続でプラスとなった。これは、①円安によって円建て輸出額が増加したこと、②米欧を中心に全ての地域向けでプラスになったこと、③機械輸出額の約35%を占める自動車の伸びが24.2%増となったことに加え、産業機械が二桁増になったことなどによる。為替・営業日が14.7%の増加要因であったことを考慮すると、実質的な伸び率は0.8%増と3ヶ月連続増となった。1月も円安が続き、営業日や春節の影響を考慮すると、合計11.0%の増加要因となる。仮に12月の機械輸出額の実質的伸び(0.8%増)が続くとすれば、前年比11.8%増と予想されるが、2月20日発表の貿易統計速報を基にした簡易計算では1月の機械輸出は9.5%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は6ヶ月連続で二桁増、貿易収支は18ヶ月連続で赤字～

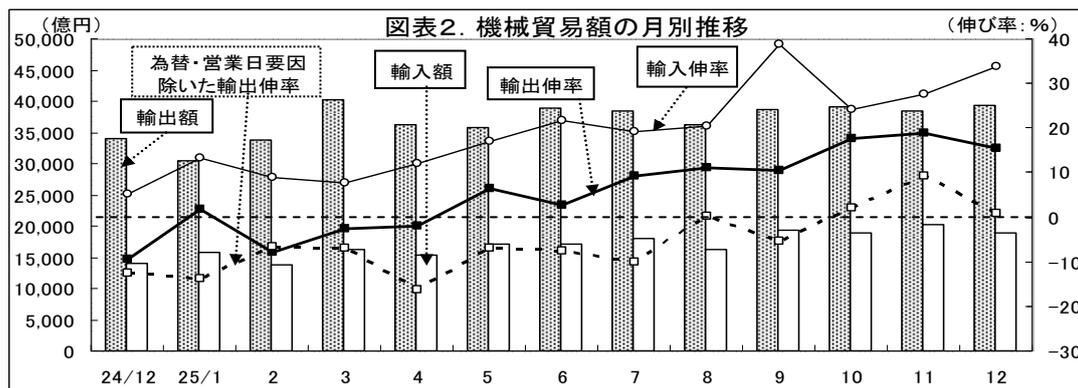
- 平成25年12月の全商品輸出額は**6兆1,096億円**、前年同月比(以下同じ)**15.3%増**と10ヶ月連続でプラスとなった(11月18.4%増)。これは円高是正による輸出額の拡大と全輸出額の約23%を占める自動車・同部品等輸送用機器(17.1%増)、約20%を占める一般機械(17.3%増)、11%の化学製品(19.9%増)等の増加が寄与した。
- 輸入額は**7兆4,138億円**、**24.7%増**と14ヶ月連続のプラスとなった(11月21.1%増)。これは、円高是正効果に加え、全輸入額の約13%を占める通信機等電気機器(35.7%増)、一般機械(33.4%増)、輸送用機器(31.9%増)等が増加したためである。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は1兆3,042億円の赤字で、一昨年7月以降18ヵ月連続で、12月としては1979年以来最大の赤字となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出5ヶ月連続二桁増、輸入は16ヶ月連続で増加～

- 全商品輸出額の約64%を占める12月の機械輸出額は**3兆9,273億円**、**15.5%増**と5ヶ月連続で二桁の伸びとなった(11月18.7%増)。しかし、輸出額の水準は、リーマンショック前(平成19年12月)と比べると**76.8%**となり、ほぼ前月比横ばい(11月76.4%)と、低い水準に止まっている。
- 一方、全商品輸入額の25%を占める機械輸入額は、**1兆8,829億円**、**33.6%増**と16ヶ月連続の増加で、ここ5ヶ月は20%を超える高い水準となっている(11月27.5%増)。また、輸入額の水準は、リーマンショック以前の**112.5%**と9ヵ月連続して上回っている(11月116.8%)。

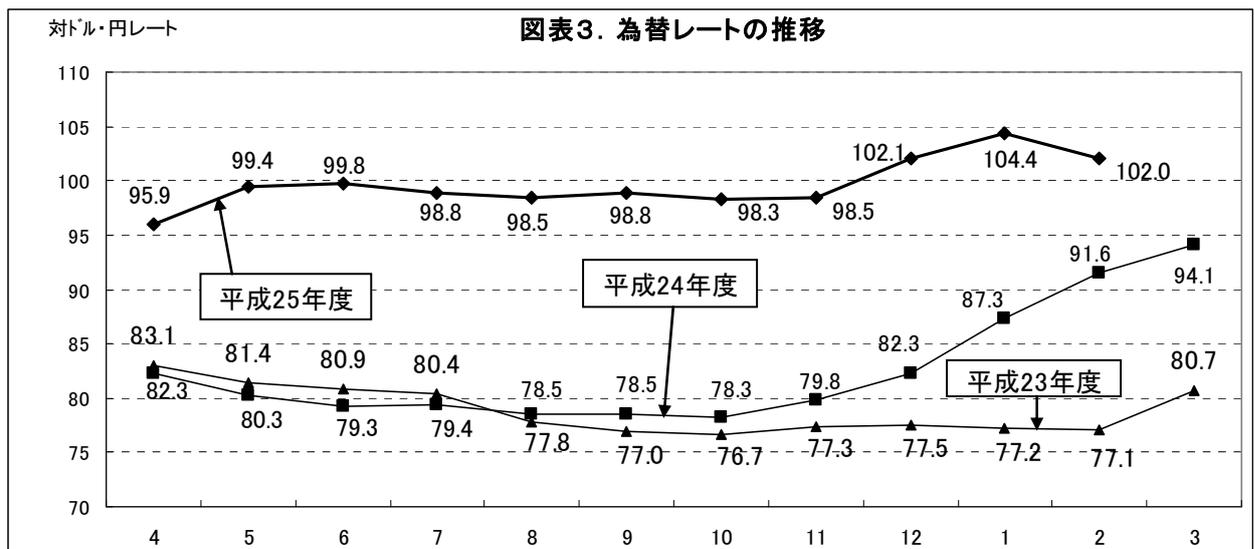


(2) 為替動向・営業日～12月は14.7%の大幅増加要因、1月は11.0%の増加要因～

1) 12月は1ドル=102.1円と円高是正が続き、前年に比べ**24.1%の円安**となった。また、対ユーロも**138.6円**と前年に対して**30.0%と円安**が進み、合わせて約**14.7%の為替増加要因**となった。営業日は前年と同じため、合計**14.7%の増加要因**となる。12月の輸出額は15.5%増であったことから、**実質的伸び率は0.8%増**と小幅ながら3ヶ月連続してプラスとなった(11月9.3%増)。

2) 平成26年1月は1ドル=104.4円と円高是正傾向が続き、前年に比べ**19.6%の円安**となった。また、対ユーロでは**142.9円**で前年に対し**24.7%の円安**となり、合わせて約**12.0%の為替増加要因**となった。営業日は前年と同じであるが、春節の影響で**1.0%の減少要因**となり、合計**11.0%の増加要因**となる。

3) 平成26年2月は、対ドルが2月19日17:00時点の**102.0円**とすれば、前年に対して**11.4%の円安**、また、対ユーロも**140.4円**と**13.8%の円安**となり、合わせると約**6.9%の為替増加要因**となる。営業日は前年と同じであるが、春節の影響が**1.3%の増加要因**となり、合計**8.2%の増加要因**となる。



(3) 地域別動向～中国向け大幅増、北米、EU向けも二桁の増加～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①機械輸出額の18.8%を占める**中国向け**では、自動車(2.3倍)、半導体製造装置等産業機械(51.2%増)等が大きく伸び、**41.0%増**となった。②12.1%を占める**EU向け**は、全体の約33%を占める自動車(32.9%増)をはじめ、17%の産業機械(32.7%増)、電池等軽電気機械(29.0%増)、建設機械(89.2%増)が大幅にプラスとなり、**26.3%増**と7ヶ月連続でプラス、③24.2%を占める**北米向け**では、全体の約51%を占める自動車(14.4%増)、建設機械(31.2%増)が増加して**11.7%増**となった。④26.9%と最大輸出先の**NIES/ASEAN向け**では、ベトナム(26.3%増)が5ヶ月連続、シンガポール(16.2%増)が3ヶ月連続で二桁増加となり、業種では、電子デバイス(10.0%増)、光学機械(15.0%増)、軽機械(14.0%増)等が増加して**7.3%増**となった。⑤17.9%を占める**その他地域向け**は、インド(17.5%減)、大洋州(9.7%減)が大幅減となったものの、中近東(23.9%増)が大幅増となり、機種では、全体の約60%を占める自動車(10.1%増)、産業機械(16.7%増)等が大幅にプラスとなって**6.4%増**となった。

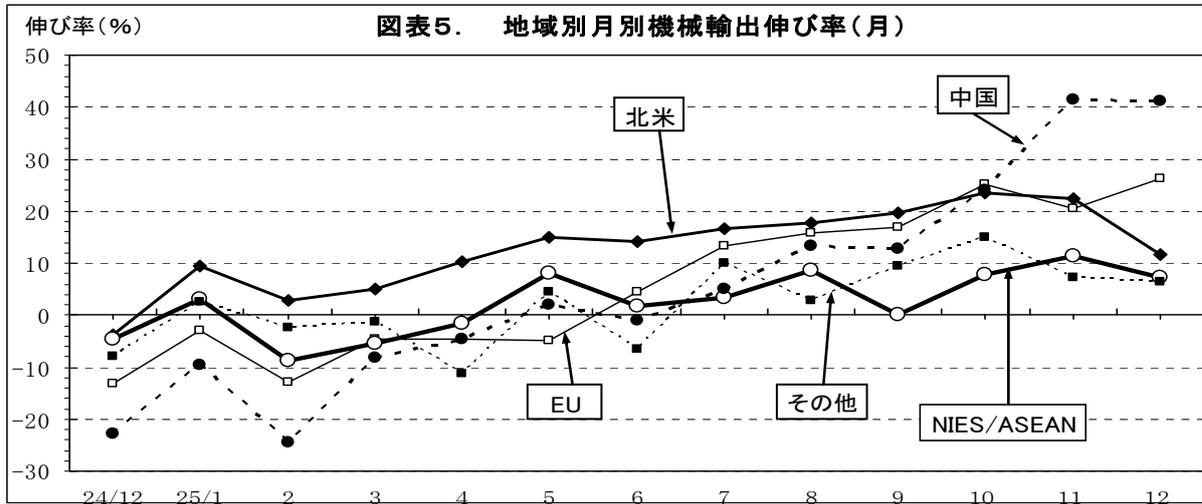
2) また、リーマンショック前の平成19年12月の地域別輸出額と比較すると、中国(110%)はプラスとなったものの、北米(81%)、NIES/ASEAN(81%)、その他地域(64%)、EU(56%)は、いずれも水準以下であった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2013/10			2013/11			2013/12			対07年 12月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	39,107	17.5	100	38,409	18.7	100	39,273	15.5	100	0.77
北米	9,736	23.6	24.9	9,811	22.4	25.5	9,522	11.7	24.2	0.81
EU	4,490	25.1	11.5	4,262	20.4	11.1	4,755	26.3	12.1	0.56
NIES/ASEAN	10,487	7.9	26.8	10,464	11.3	27.2	10,575	7.3	26.9	0.81
中国	6,704	24.1	17.1	6,837	41.5	17.8	7,377	41.0	18.8	1.10
その他	7,690	15.0	19.7	7,035	7.2	18.3	7,044	6.4	17.9	0.64

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2013/9		2013/10		2013/11		2013/12	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,939	18.6	2,048	29.5	1,742	11.2	1,741	3.5
台湾	1,504	▲ 6.2	1,549	1.0	1,697	22.7	1,937	18.1
香港	1,648	10.5	1,622	12.8	1,665	7.2	1,578	14.4
タイ	1,721	▲ 14.2	1,710	▲ 12.5	1,768	▲ 6.1	1,718	▲ 12.1
シンガポール	830	4.7	808	17.5	992	42.2	833	16.2
インドネシア	877	▲ 5.3	881	9.4	838	10.1	932	17.4
マレーシア	703	▲ 8.2	774	0.0	703	13.2	767	4.3
フィリピン	532	▲ 4.5	534	5.3	496	▲ 0.7	489	▲ 0.4
ベトナム	429	15.6	455	39.5	456	26.8	483	26.3
その他地域								
中南米	2,422	10.7	2,459	19.4	1,957	▲ 2.5	1,984	4.4
中近東	1,753	21.5	1,755	19.2	1,831	24.6	1,917	23.9
大洋州	1,155	▲ 8.9	1,103	8.0	1,066	▲ 4.4	998	▲ 9.7
ロシア東欧等	1,310	20.6	1,410	29.9	1,043	4.8	1,060	8.3
アフリカ	801	9.8	602	5.4	703	52.9	584	0.8
インド	394	▲ 4.2	337	▲ 16.1	316	▲ 21.0	374	▲ 17.5

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～19業種中1業種がマイナス、自動車は9ヶ月連続、産業機械は8ヶ月連続プラス～

- 業種別では、前月と同様に全19業種中1業種がマイナスであった。全体の約35%の自動車(18.8%増)が9ヶ月連続、約18%の産業機械(16.9%増)が8ヶ月連続でプラスとなったほか、電子計算機、通信機械、医療機械、繊維機械、農業機械が20%を超える高い伸びとなった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは医療機械、光学機械、ベアリングの3業種で、民生用電子機械、通信機械は40%台、電子計算機、船舶、産業車両は50%台の低い水準にある。

図表7 上位19業種の輸出額の動き (単位:億円、%)

機種名	2013/10			2013/11			2013/12			対07/12比		
	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額		伸び率	シェア
自動車	14,241	26.9	36.4	自動車	13,916	25.5	36.2	自動車	13,775	18.8	35.1	0.75
産業機械	6,325	16.3	16.2	産業機械	6,404	21.2	16.7	産業機械	7,008	16.9	17.8	0.88
電子デバイス	3,109	9.6	8.0	電子デバイス	2,866	3.6	7.5	電子デバイス	2,956	6.1	7.5	0.68
重電気機械	2,041	20.0	5.2	軽電気機械	1,962	16.8	5.1	軽電気機械	2,053	14.2	5.2	0.75
軽電気機械	2,023	13.7	5.2	重電気機械	1,864	12.8	4.9	重電気機械	1,964	10.7	5.0	0.88
民生用電子機械	1,781	6.1	4.6	民生用電子機械	1,600	6.0	4.2	軽機械	1,573	17.0	4.0	0.82
軽機械	1,461	17.7	3.7	軽機械	1,500	20.7	3.9	民生用電子機械	1,567	10.3	4.0	0.48
光学機械	1,388	0.7	3.5	光学機械	1,389	7.6	3.6	光学機械	1,523	15.1	3.9	1.13
船舶	1,285	9.4	3.3	船舶	1,365	18.2	3.6	建設機械	1,065	15.5	2.7	0.69
建設機械	892	15.6	2.3	建設機械	921	26.8	2.4	船舶	866	▲ 2.2	2.2	0.53
工作機械	662	▲ 21.6	1.7	工作機械	678	▲ 12.9	1.8	工作機械	819	1.7	2.1	0.95
通信機械	576	48.6	1.5	通信機械	530	34.4	1.4	電子計算機	569	28.0	1.4	0.52
電子計算機	440	16.9	1.1	電子計算機	489	21.5	1.3	通信機械	531	21.4	1.4	0.49
ベアリング	390	16.9	1.0	医療機械	395	21.6	1.0	医療機械	430	25.3	1.1	1.98
医療機械	358	18.1	0.9	ベアリング	387	19.7	1.0	ベアリング	387	19.1	1.0	1.09
陸用内燃機関	354	10.0	0.9	陸用内燃機関	329	5.1	0.9	陸用内燃機関	361	9.1	0.9	0.82
繊維機械	228	31.0	0.6	繊維機械	237	53.0	0.6	繊維機械	235	56.4	0.6	0.81
農業機械	165	14.4	0.4	農業機械	163	10.5	0.4	農業機械	172	21.6	0.4	0.71
産業車両	132	3.0	0.3	産業車両	123	6.2	0.3	産業車両	123	5.6	0.3	0.53
19業種合計	37,850		96.8	19業種合計	37,117		96.6	19業種合計	37,976		96.7	0.76

(5) 機種別動向～繊維機械、半導体製造装置等が大幅増加、主要機種で二桁減のものはなし～

1) 12月で10%以上の伸び率を示した機種は、①中国、その他地域向け**繊維機械**(56.4%増)、②NIES/ASEAN、中国向け**半導体製造装置**(49.4%増)、③中国、NIES/ASEAN、EU向け**電子計算機**(28.0%増)、④NIES/ASEAN、北米向け**磁気カード・ディスク等**(28.0%増)、⑤NIES/ASEAN、中国向け**電池**(27.2%増)、⑥北米、EU、中国向け**医療機械**(25.3%増)、⑦北米、EU向け**TV**(24.8%増)、⑧北米、NIES/ASEAN、EU向け**農業機械**(21.6%増)、⑨北米、その他地域向け**乗用車**(21.5%増)、⑩中国向け**通信機械**(21.4%増)であった。

2) 一方、主要機種の中で落込み幅が10%以上のものはなかった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円)

2013/10			2013/11			2013/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
原動力機械	545	51.0	半導体製造装置	1,126	117.7	繊維機械	235	56.4
半導体製造装置	960	50.6	繊維機械	237	53.0	半導体製造装置	1,443	49.4
通信機械	576	48.6	産業用ロボット	116	41.6	電子計算機	569	28.0
運搬機械	266	42.5	通信機械	530	34.4	磁気カード・ディスク等	173	28.0
乗用車	8,332	34.9	乗用車	8,303	34.1	電池	233	27.2
繊維機械	228	31.0	建設機械	921	26.8	医療機械	430	25.3
電池	227	27.9	バルブ・コック	372	25.8	TV	105	24.8
バルブ・コック	387	25.9	運搬機械	295	24.2	農業機械	172	21.6
産業用ロボット	119	23.9	TV	99	22.0	乗用車	7,779	21.5
TV	94	22.6	電気・電子計測器	391	21.9	通信機械	531	21.4
機種合計	11,734	30.0%	機種合計	12,390	32.3%	機種合計	11,670	29.7%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円)

2013/10			2013/11			2013/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	662	▲21.6	工作機械	678	▲12.9	-	-	-
エアコン	8	▲18.4	機種合計	678	1.8%	機種合計	-	-
金属加工機械	313	▲16.5						
機種合計	983	2.5%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

(6) 機械輸入動向～電子計算機、電子デバイス、携帯電話、乗用車、自動車部品が大幅増～

1) 12月の機械輸入伸び率は33.6%増と16ヶ月連続でプラスとなり、円高是正効果と国内需要増を反映して高い伸びとなった。これは、輸入上位機種である電子計算機(28.3%増)、電子デバイス(39.4%増)、携帯電話(40.4%増)、乗用車(57.7%増)、自動車部品(57.1%増)が大幅に増加したほか、白物家電(37.8%増)、医療機械(28.0%増)、分析・試験・検査機(35.9%増)、TV(38.0%増)、民生用電子部品(49.1%増)、光学機械(10.6%増)が二桁以上の増加となったためである。他方、航空機類(28.4%減)は上位12機種で唯一減少となった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、携帯電話、白物家電、医療機械、TV、時計、録画・再生機器、ラジオ、写真機となっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の43%を占める中国(40.2%増)、EU(52.9%増)、ASEAN(35.9%増)、韓国・台湾(15.4%増)、北米(7.2%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2013/10				2013/11				2013/12			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,319	51.5	12.3	携帯電話	2,240	15.7	11.0	電子計算機	2,199	28.3	11.7
電子計算機	2,019	10.8	10.7	電子デバイス	2,140	37.0	10.6	電子デバイス	2,130	39.4	11.3
携帯電話	1,714	30.8	9.1	電子計算機	1,949	24.0	9.6	携帯電話	1,260	40.4	6.7
自動車部品	1,023	42.6	5.4	航空機類	1,181	240.4	5.8	乗用車	1,193	57.7	6.3
乗用車	915	24.7	4.9	自動車部品	1,017	40.7	5.0	自動車部品	1,002	57.1	5.3
白物家電	642	22.0	3.4	乗用車	921	5.6	4.5	白物家電	700	37.8	3.7
医療機械	634	25.2	3.4	白物家電	728	23.4	3.6	医療機械	643	28.0	3.4
民生用電子部品	403	23.5	2.1	医療機械	673	35.7	3.3	分析・試験・検査機	382	35.9	2.0
光学機械	398	12.5	2.1	民生用電子部品	373	25.9	1.8	TV	360	38.0	1.9
分析・試験・検査機	341	21.2	1.8	光学機械	362	4.9	1.8	民生用電子部品	359	49.1	1.9
航空機類	312	▲18.7	1.7	分析・試験・検査機	347	6.7	1.7	光学機械	354	10.6	1.9
時計	301	8.0	1.6	TV	313	43.6	1.5	航空機類	342	▲28.4	1.8
12機種合計	11,021		58.5	12機種合計	12,244		60.4	12機種合計	10,924		58.0

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械